

三郎山論集7（上田女子短期大学 日本語教育研究会・国語研究倶楽部共同機関誌）2000.3

長野県方言関係研究文献目録（稿）補訂

千 野 和 美・柳 沢 美 弥

0. はじめに

それぞれの事情で長野県に移り住んだ私たちは、「ごしたい(=つらい、疲れる)」「べちゃる(=捨てる)」等、聞いたことのない語が、人々の間でふつうに話されているのを目の当たりにし、言葉の違いを肌でじかに感じながら成長してきた。そのためか、方言に関して興味をいさぐようになり、いつか何らかのかたちで方言にふれてみたいと思っていた。

そこへ、卒業研究に取り組む機会が巡ってきた。私たち二人は、図書館司書の資格取得をめざして勉強している身であることもあって、目録作成能力の向上にもつながると考え、長野県方言関係の研究文献目録の作成に取り組むことにした。

1. 凡 例

先行の目録である大橋敦夫「長野県方言関係研究文献目録（稿）」（『上田女子短期大学紀要』第18号 1995.3 以下「先行目録」と称す）を補訂し、以下に記すような要領で収録した。

2. 収録範囲

1998年度分までの図書・雑誌を対象に先行目録を補訂する。

（一部に1999年度分のものも含む。）

3. 出典資料

文献の収録には、主に下記の書誌を参考にした。

『国語年鑑』国立国語研究所 大日本図書 1997～1999

『国文学年鑑』国文学研究資料館 至文堂 1995～1999

4. 構 成

先行目録と同様、次のように分け、補訂した。

Ⅰ. 研究書・方言集（地域別）……先行目録を増補・修訂した。

Ⅱ. 市町村誌類（地域別）……先行目録を増補・修訂した。

Ⅲ. 研究論文（年代順）……先行目録への追加を主とした。

5. まとめ

主要な研究文献は、網羅できたと思われるが、旧制中学や旧制高等女学校などで発行されていた紀要類のタイトルを調べる必要がある。往時の研究者は、それらの学校の先生方である場合が多いからだ。

私たちは、母校である長野市立皐月高等学校に連絡をとってみたが、残念なことに目的とする資料類は保存されていなかった。しかし、これはほんの一例に過ぎず、多くの学校には、まだ関係の資料が残されている可能性がある。貴重な資料が失われる前に、早急調査の必要があろう。

（ちの かずみ・やなぎさわ みや／国文科2年）

□ 研究書・方言集（地域別）

■全域

- 001 1819. 小林 一茶 『方言雑集』
- 002 1827. 小林 一茶 『信濃方言独吟歌仙』
- 003 1862. 『信州方言入 鳥保呉』
- 004 不明 『越信土産』
- 005 1926.09 信濃教育会編 『方言雑集』〈一茶叢書 第二編〉（古今書院）
- 006 1977.12 信濃教育会編 『一茶全集』第7巻〔「方言雑集」所収〕（信濃毎日新聞社）p.471
-571
- 007 1938.10 佐伯 隆治 『信州動物方言集』（私家版）
- 008 1978.01 足立 惣蔵 『信州方言辞典』（遠兵衛パブリコ（松本））268p
- 009 1986.07 味の素文化史 『食文化に関する用語集 郷土食—長野県』（味の素文化史料
料室編 室）
- 010 1929.11 大田栄太郎編 『長野縣方言』（方言集覧稿第二編）
- 011 1986.05 尾崎 久弥 『江戸文芸 信濃小説集』（しなの川柳社）
- 012 1948.10 青木 千代吉 『信州方言読本 語法篇』（信濃教育会出版部）166p
- 013 1949. 国立国語研究 『共通語と方言の交渉（秋田・山形・長野）』（国研報告書）
所地方調査員
- 014 1950. 青木 千代吉 『長野県方言の概観』（国研報告書）
- 015 1950. 青木 千代吉 『長野県方言音韻語法の特徴形の実態』（国研報告書）
- 016 1950.12 信濃教育会 『長野県方言調査票』（信濃教育会教育研究所）
教育研究所
- 017 1951.06 青木 千代吉 『信州方言読本 発音篇』（信濃教育会出版部）108p
- 018 1952.10 青木 千代吉 『長野県方言集』『信毎年鑑 1953 年版』（信濃毎日新聞社）
- 019 1956.12 福沢 武一 『信州方言風物誌 第1 笛師とチョロッペ』（柳沢書苑（池田町））
216,17p
- 020 1957.07 福沢 武一 『信州方言風物誌 第2 雪とウスヒノバサ』（柳沢書苑）216,19p
- 021 1958.06 福沢 武一 『信州方言風物誌 第3 チョキと探訪』（柳沢書苑）208,18p
- 022 1969.02 福沢 武一 『信濃太郎——方言の話——』（柳沢書苑）299p
- 023 1969.03 牛山 初男 『東西方言の境界』（私家版）162p
- 024 1971.03 馬瀬 良雄 『信州の方言』（第一法規出版）279p
- 025 1974.08 足立 惣蔵 『信州ことば かきあつめ』第1集（私家版）
- 026 1978.01 工藤 敦男 『ふたつのアクセント 長野県のことばと共通語』（銀河書房（長
野））238p
- 027 1980.03 足立 惣蔵 『信州方言 300 語分布一覧表』（私家版）16p

- 028 1982.11 福沢 武一 『しなの方言考 上』(信濃毎日新聞社) 225p
- 029 1983.07 福沢 武一 『しなの方言考 下』(信濃毎日新聞社) 239p
- 030 1985.06 足立 惣蔵 『中世の抄物類並に江戸戯作物等にある信州方言雑記』(私家版) 33p
- 031 1992.03 馬瀬 良雄 『長野県史 方言編』(長野県史刊行会)
- 032 1992.11 馬瀬 良雄 『言語地理学研究』(桜楓社) 462p
- 033 1978.03 国立国語研究所 『方言談話資料1 山形・群馬・長野』付. カセットテープ〈国立国語研究所資料集 10〉
- 034 1979.11 国立国語研究所 『方言談話資料1 山形・群馬・長野』付. カセットテープ(秀英出版) 367p
- 035 1981.10 日本放送協会編 『全国方言資料 第2巻 関東・甲信越編』(日本放送協会) 582p
- 036 1986.03 長野県教育委員会編 『長野県方言緊急調査報告書』付. カセットテープ(長野県教育委員会) 403p
- 037 1987.03 国立国語研究所 『方言談話資料9 場面設定の対話 青森・群馬・千葉・新潟・長野・静岡・愛知・福井・奈良・鳥取・島根・愛媛・高知・長崎・沖縄』(秀英出版) 268p
- 038 1972.03 長野県教育委員会 『長野県民俗地区』110p
- 039 1971.01 向山 雅重 『信濃民俗記』(慶友社) [3刷]
- 040 1972.02 向山 雅重 『続信濃民俗記』(慶友社) [2刷]
- 041 1968.08 宇都宮 貞子 『草木覚書』(草木と民俗の会) 225p
- 042 1970. 宇都宮 貞子 『草木ノート』(読売新聞社) 302p
- 043 1971. 宇都宮 貞子 『山村の四季』(創文社) 289p
- 044 1974.06 宇都宮 貞子 『草木手帖』〈奥信濃野沢のはなし その(三)〉(住吉屋旅館〈野沢温泉〉) 66p
- 045 1984.06 宇都宮 貞子 『夏の草木』〈新潮文庫〉(新潮社)
- 046 1984.08 宇都宮 貞子 『秋の草木』〈新潮文庫〉(新潮社)
- 047 1984.12 宇都宮 貞子 『冬の草木』〈新潮文庫〉(新潮社)
- 048 1985.02 宇都宮 貞子 『春の草木』〈新潮文庫〉(新潮社)
- 049 1986.10 宇都宮 貞子 『四季の花』(桜華書林〈長野〉) 106p
- 050 1991.11 宇都宮 貞子 『私の草木誌』(筑摩書房) 194p
- 051 1996.01 井上史雄・篠崎晃一・小林隆・大西拓一郎編 『中部方言考①中部一般・長野県』〈日本列島方言叢書⑧〉 560p

■北信

長野市

- 001 1935.12 佐伯 隆治 『長野市及び上水内郡方言集』(私家版)
002 1952.10 更北中学校編 『川中島平方言集』(更北中学校) 145p
003 1980.02 馬瀬 良雄 『長野市方言におけるアクセントの共通語化』(科研報告) 79p
004 1988.08 中澤 元男 『城下町松代 方言の中の乙女心』(私家版)
005 1994.04 青木 貞元 『古い歴史と文化の里 松代の民話 〈参考〉松代の方言となまり
ことば』(私家版) 154p
006 1999.04 鈴木 武兵衛 『岡田町周辺の方言集』(私家版) 77p

須坂市

- 001 1982.02 三木 正成 『方言集(須坂市相之島)』(私家版)

中野市

- 001 1992.02 佐藤 慧 『中野のふるさとことば』(私家版) 97p
002 1992.02 斉藤 武雄 『ふるさとの方言』(中野市中央公民館) 94p

飯山市

- 001 1987.01 足立 惣蔵 『奥信濃昔話中の飯山言葉』(私家版) 28p

更埴市

- 001 1989.03 若林 延二 『屋代の方言集』(私家版) 18p
002 1990.04 稲荷山町づく 『稲荷山・桑原地区方言集〔改訂〕』(稲荷山町づくり推進会議文化
り推進会議文 体育部) 48p
化体育部編

更級郡

- 001 1891. 『更級郡方言集』
002 不明 更級郡校長会編 『更級郡方言調査書』(更級郡校長会) 39p

上高井郡

- 001 1954. 青木 千代吉 『上高井郡高井村方言の記述』(国研報告書)

下高井郡

- 001 1906. 戸立岩分教場編 『下高井郡方言取調』
002 1991. 斉藤 武雄 『下高井の言葉』(私家版) 109p

上水内郡

- 001 1982.03 牟礼村ほか編 『村に伝わる方言集』(牟礼村・牟礼村教育委員会・牟礼村公民
館) 24p
002 1992.03 酒井万包監修 『見ておくりやれや—方言の単語と民話と対話集—』(長野県上水
内郡小川村)
003 1994.03 たけむらすみい 『北信濃にしやま 遠い日小さなものがたり』(ひいらぎ書房〈小

布施町) 124p

下水内郡

- 001 1902.05 下水内郡校長 会編 『下水内郡方言調査書』(下水内郡校長会)
- 002 1976.05 飯水教育会・青木千代吉 『下水内の方言』(飯水教育会) 316p
- 003 1977.03 長野県下水内郡栄村編 『栄村秋山地方の口頭伝承』第1集(長野県下水内郡栄村) 44p
- 004 1978.03 長野県下水内郡栄村編 『栄村秋山地方の口頭伝承』第2集(長野県下水内郡栄村) 36p
- 005 1982.10 馬瀬良雄ほか編 『信越の秘境 秋山郷のことばと暮らし』付.ソノシート(第一法規出版) 313, XVIIIp
- 006 1984.10 東京成徳短期大学方言研究会 『『秋山紀行』の俚言調査報告・北部群馬言語調査報告』(方言研究報告4)(東京成徳短期大学方言研究会)

■東信

- 001 1976.07 上原 邦一 『東信濃方言集』(国書刊行会)
- 002 1988.01 福沢 武一 『おいでなんし 東信のふるさと方言集』(郷土出版社) 303p

上田市

- 001 1907.09 上田中学校編 『上田附近方言調査』(上田中学校) 247p
- 002 1932.10 上田中学校 国漢科編 『信州上田附近方言集』(大正堂書店(長野)) 207p
- 003 1975.02 上田中学校 国漢科編 『信州上田附近方言集』(国書刊行会) 207p
- 004 1875.04 武田 喜伝治 『俚言抄』(私家版)

小諸市

- 001 1970. 小諸小学校 『信州小諸方言集』

佐久市

- 001 1941.11 大沢 心一 『信州佐久地方方言集』(私家版) 90p
- 002 1950. 佐藤 邦雄 『佐久の植物方言』(北佐久教育会) 164p
- 003 1966.12 上原 邦一編 『信州佐久方言集成』(佐久教育会郡志郷土研究会) 195p
- 004 1978.07 佐藤 邦雄 『信州佐久の植物方言』(旅と信濃社) 107p
- 005 1988.09 市川 武治 『佐久地方の地名と語源 ふるさとの地名探訪』(郷土出版社) 239p
- 006 1991.05 市川 潔 『ふるさと佐久——遊びことば——』(櫟(佐久)) 275p

南佐久郡

- 001 1939. 國學院大学 『南佐久郡方言集』(國學院大学方言研究会) 62p
方言研究会編

北佐久郡

- 001 1995.10 柳澤 哲郎編 『浅科村を中心とした佐久地方の方言集』 50p

■ 中信

大町市

- 001 1922. 小池直太郎編 『小谷口碑集 附方言集』
002 1979.02 牛越 嘉人 『小谷の方言』(私家版)
003 1984. 馬瀬 良雄 『長野県大町市方言の研究』(大町市史刊行会)
004 1987.11 斉藤 岩男 『乗鞍高原の方言 一付 迷信他一』(乗鞍郷土館)

木曾郡

- 001 1709. 貝原 易軒 『木曾路之記』
002 1810. 水谷 豊文 『木曾採薬記』
003 1825. 木窪 正章 『信州木曾山産草之類以呂波寄』
004 1903.11 西筑摩郡 『方言調査』(西筑摩郡校長会)
校長会編
005 1958. 横川 徳二 『西野に於ける方言の純化 付・方言集』(昭和33年度教育研究集会第16分科会報告書)
006 1974.10 矢島 満美 『木曾の方言』(福沢武一補注)(国書刊行会) 233,21p
007 1976.05 信州大学方言 『木曾及びその周辺地方の言語地図 語彙編1』(信州大学方言研究会編 研究会)
008 1985.05 Camberlain, F. 『The Linguistic Implications of the Kiso Dialect in Toson's Work』(Occasional Papers Series, No. 27)
(Dept. of Japanese, Univ. of Queensland)
009 1994.10 ふるさとこと 『心につながる日義のことば(方言集)』(長野県木曾郡日義村ふるさとことば収集会)
ば収集会編
010 1997.03 井上 文子編 『長野県木曾福島町・開田村言語調査報告 資料篇』 159p

東筑摩郡

- 001 1898.01 安藤好実ほか 『東筑摩郡方言』(東筑摩郡教育会)
編
002 1910.09 信濃教育会東 『音韻並ニ口語法ニ関スル調査書』(松本市川越活版所)
筑摩部会編
003 1957. 蘭小学校編 『蘭の方言』(蘭小学校) 80p

南安曇郡

- 001 1997.03 馬瀬 良雄 『信飛国境地帯 奈川村の方言』 99p

北安曇郡

- 001 1897.03 白井・野々山 『北安曇郡方言取調』(北安曇郡役所)
・降旗編
- 002 1983.03 白井 雅史 『安曇地方の方言集』(新光社(穂高町)) 32p

■南信

諏訪市

- 001 1934.04 岩本 節次 『岩本先生遺稿 洲羽言葉』(信濃教育会諏訪支部)
- 002 1961.09 長野県諏訪実業高等学校地歴部編 『諏訪方言集——長野県諏訪地方——』(同・発行) 104p
- 003 1978.01 岩波 泰明 『諏訪の方言』(岡谷日日新聞社) 455p
- 004 1997.07 中洲公民館 『諏訪中筋の方言』147 p
方言研究会

茅野市

- 001 1986.04 柏原遺跡保存会編 『柏原ことば』(茅野市柏原遺跡保存会発行) 52p

上伊那郡

- 001 1952.01 畑 美義編 『上伊那方言集——信州上伊那——』(私家版) 170p
- 002 1975.06 畑 美義編 『上伊那方言集 附下伊那方言集』(国書刊行会) 232p
- 003 1980.12 福沢 武一 『上伊那の方言 ずくなし 上』(伊那毎日新聞社) 438p
- 004 1983.10 福沢 武一 『上伊那の方言 ずくなし 下』(伊那毎日新聞社) 435,50p
- 005 1987.09 下澤 勝井 『伊那谷の方言歳時記』(郷土出版社) 183p
- 006 1985.10 馬瀬 良雄編 『伊那谷の民話とわらべ歌』(信州大学人文学部国語研究室)
- 007 1987. 馬瀬 良雄編 『伊那谷の民話とわらべ歌』付.カセットテープ(銀河書房) 300p
- 008 1987.04 伊東 武 『伊那谷新野のわらべ唄』(私家版) 193p
- 009 1984.06 松崎 岩夫 『伊那地方の地名 地名にかくされている郷土の地理・歴史・民俗をさぐる』(有峰書店新社) 244p
- 010 1978. 長野県辰野高等学校文学クラブ編 『辰野町およびその周辺地域方言地図』(長野県辰野高等学校) 32p
- 011 1987. 登内 政文 『箕輪の方言』(私家版) 137p

下伊那郡

- 001 1903. 『長野県下伊那郡方言調査書』(伊那公報社)
- 002 1936.08 井上 福實編 『信州下伊那郡方言集』(私家版) 75p
- 003 1953.10 下伊那郡教育 『下伊那方言集(中間報告)』(下伊那郡教育会双書 11)(下伊那

- | | | | | |
|-----|---------|--------|----------------------------------|------|
| | | 会編 | 郡教育会) | 104p |
| 004 | 1982.12 | 浅野 一男 | 『長野県下伊那郡上村の植物民俗』 | |
| 005 | 1983.04 | 浅野 一男 | 『長野県下伊那郡南信濃村の植物名方言と植物民俗』 | |
| 006 | 1984.07 | 浅野 一男 | 『長野県下伊那郡根羽村の植物と民俗』第1集 | |
| 007 | 1987.07 | 浅野 一男 | 『長野県下伊那上郷町の植物方言名と植物民俗』第2集 | |
| 008 | 1988. | 浅野 一男 | 『下伊那植物名方言分布図集・I』(私家版) | |
| 009 | 1996.12 | 井上 伸児 | 『復刻『信州下伊那方言集』(付 索引・各種論考・回想)』178p | |
| 010 | 1986. | 松川町教育 | 『松川町の方言』(松川町文化財シリーズ6)(松川町教育委員会) | |
| | | 委員会編 | 59p | |
| 012 | 不明 | | 『飯田しるべ』(飯田商工会議所) | |
| 013 | 1932. | 伍和小学校 | 『伍和村方言集』(伍和小学校高一) | |
| | | 高一編 | | |
| 014 | 1997.11 | 在京飯田高校 | 『飯田・下伊那の方言』28p | |
| | | 同窓会 | | |
| 015 | 1998. | 山口 儀高 | 『上村の方言』98p | |

□ 研究論文（年代順）

- 1976.03 窪田 央澄 「諏訪の方言に残る古語」『茅野』2号
- 1990.04 翠川 渡 「しょうしい」『通信上田盆地』24号p.1
- 1993.03 山口 吉宗 「方言と私 川中島平に生まれて生きて」『学海』（上田女子短期大学）9号p.1-12
- 1993.03 田中 宣広 「信州大町方言の語法」『立正大学国語国文』29号p.22-36
- 1994.01 翠川 渡 「一茶『方言雑集』補注Ⅲ」『長野』173号p.122-139
- 1994.05 鏡味 明克 「方言分布推定のための解釈 木曾三川地域の「せきれい」方言を例として」『名古屋・方言 研究会会報』11号p.13-22
- 1995.02 福沢 武一 「方言はふるさと（15）」『伊那』43巻2号p.41-42
- 1995.05 鏡味 明克 「木曾三川地域の「せきれい」の方言分布再論」『名古屋・方言 研究会会報』12号p.11-16
- 1995.06 田中 宣広 「付属語アクセントの記述方法 信州大町方言の名詞接続の付属語を例として」『都大論究』32号p.1-11
- 1995.06 今村 かほる 「長野県下伊那における一段活用動詞の命令形について」『弘学大語文』21号p.1-9
- 1995.07 加藤 秀貴 「木曾谷におけるアクセントの変化」『ことばの研究＜長野県ことばの会誌＞』7号p.16-24
- 1995.09 原 市蔵 「方言語彙などからみた上清内路と木曾谷の関係」『伊那』43巻9号p.19-28
- 1995.09 宮崎 佐吉 「上小地方の養蚕方言〔付 俚言俳句〕」『上田盆地』34号p.38-42
- 1995.09 翠川 渡 「公家言葉と信州方言」『上田盆地』34号p.43-49
- 1995.10 丹羽 一彌 「信州の言葉—方言から見た山と平—」『信州の歴史と文化』（郷土出版社〈松本〉）p.167-186
- 1995.10 沢木 幹栄 「信州方言の特徴—日本のなかの信州方言—」『信州の歴史と文化』（郷土出版社〈松本〉）p.187-201
- 1995.11 沖 裕子 「変容する日本の方言—松本市 「気づかれにくい方言」の隆盛と俚言使用の二相化」『言語』24巻12号p.86-96
- 1995.11 翠川 渡 「一茶の読書遍歴—『方言雑言』の記載から」『長野』184号p.8-10
- 1995.12 福沢 武一 「方言はふるさと（16）」『伊那』43巻12号p.39-45
- 1996.03 日高 水穂 「信州新町地域の「マダ～否定」表現の体系変化地域言語の標準語コード上の変容」『日本学報』15号（大阪大学）p.97-107
- 1996.03 大和 シゲミ 「木曾郡開田村および木曾福島町における「遅上がり」音調につ

- ・豊田 陽子 いて『日本学報』15号(大阪大学) p.109-121
- 1996.03 武居 幸重 「山梨言葉に諏訪言葉」『茅野』41号 p.72-73
- 1996.04 中村 純子 「伊那方言における方言保持の男女差」『日本語研究』16号(東京都立大学) p.25-38
- 1996.05 鏡味 明克 「木曽三川地域における平野部の学区と方言分布」『名古屋・方言研究会会報』13号 p.1-10
- 1996.06 田中 宣広 「動詞・形容詞接続の付属語アクセントの記述信州大町方言を例として」『都大論究』33号 p.1-11
- 1996.08 馬瀬 良雄 「長野県における連母音の融合・非融合 連母音 o i, o e, u i を中心に」『音声学会会報』212号(日本音声学会) p.34-48
- 1996.10 日高 水穂 「信州新町地域の授与動詞の体系変化」『地域言語』8号(天理・地域言語研究会) p.37-52
- 1996.10 馬瀬 良雄 「追悼 青木千代吉先生」『ことばの研究〈長野県ことばの会会誌〉』第8号
- 1996.10 京極 興一 「青木千代吉先生を偲ぶ」『ことばの研究〈長野県ことばの会会誌〉』第8号
- 1996.10 「青木千代吉先生の略歴」『ことばの研究〈長野県ことばの会会誌〉』第8号
- 1996.10 「青木千代吉先生方言関係著作目録」『ことばの研究〈長野県ことばの会会誌〉』第8号
- 1996.10 清水 真弓 「『長野県緊急調査報告書』における方言の待遇表現の比較」『ことばの研究〈長野県ことばの会会誌〉』第8号
- 1996.12 中村 義松 「せう(言う)小考 宇都宮貞子著『私の草木誌』より」『ちょうま』17号 p.80-84
- 1997.01 今村 輝夫 「口絵 飯田方言番付」『伊那』45巻1号 p.1-2
- 1997.01 今村 輝夫 「方言歌留多(かるた)」『伊那』45巻1号 p.34-36
- 1997.03 桜井 伴 「方言で語るやすらぎの場、いろりでいろいろ話さまい 囲炉裏火・鉄瓶のお茶」『伊那』45巻3号 p.21-22
- 1997.04 小田中 柑子 「方言「一里一尺」を探りて」『信州の東京』1007号 p.42-46
- 1997.06 馬瀬 良雄 「日本語の方言と言語行動―各地の方言生活の特色―具体例を挙げつつ>中部 信越国境秋山郷の雪をめぐることばと暮らし」『国文学 解釈と教材の研究』42巻7号 p.113-119
- 1997.07 翠川 渡 「佐久方言雑考(一)」『佐久』(佐久史学会)21号 p.26-29
- 1997.08 井上 伸児 「消えてゆくことばの文化 一方言について思うこと一」『伊那』45巻8号 p.42-44
- 1998.02 内藤 弼 「小六の方言調査と言語学的研究 一方言域の相違による信濃と

- 甲斐の国境の検証一』『高原の自然と文化』12号（富士見の自然と文化を守る会）p.13-19
- 1998.03 塩入 秀敏 「ヤチ地名とケミ地方 長野県の湿地地名方言について」『上田女子短期大学紀要』21号 p.21-33
- 1998.03 今村 かほる 「長野県南部における意志・勧誘表現の実態と動向」『弘学大語文』23・24号 p.1-16
- 1998.06 翠川 渡 「佐久方言雑考（二）」『佐久』24号（佐久史学会） p.28-31
- 1998.09 中村 久太郎 「方言」『オール諏訪』vol.18 no.168 p.36-37
- 1998.10 翠川 渡 「佐久方言雑考（三）」『佐久』25号（佐久史学会） p.32-35
- 1998.11 赤羽 篤 「向方旧記（七）一向方の言葉一」『伊那』46巻11号 p.22-25
- 1998.11 片桐 亀十 「暮らしの中にある樹木の方言と利用」『伊那』46巻11号 p.25-29
- 1999.02 翠川 渡 「佐久方言雑考（四）」『佐久』26号（佐久史学会） p.43-47
- 1999.06 翠川 渡 「佐久方言雑考（五）」『佐久』27号（佐久史学会） p.43-46
- 1999.06 井上 伸児 「消えてゆくことばの文化（その二）ーオチューハンー」『伊那』47巻6号 p.34-38
- 1999.07 井上 伸児 「消えてゆくことばの文化（その三）ー「アト」ー」『伊那』47巻7号 p.31-33
- 1999.09 柳澤 幸子 「筑北の方言（坂北村仁熊を中心に）」『谷間の村に生きて』（私家版） p.188-204
- 1999.10 中村 純子 「上伊那における推量助動詞ーダラの分布」『ことばの研究〈長野県ことばの会誌〉』第10号 p.1-3